

福島県いわき市いわき文化センターでの会場風景  
2014年7月10日から13日まで開催されたパネル展と写真展





旧騎西高避難所の写真を眺める伊沢さん（右）と伊福理事長



た。楠正興副理事長（まこと幼稚園）と遠藤弘道理事（九品寺付属幼稚園）、事務局の田村幸雄さんが同席した。この日は、東京品川私立幼稚園協会側の同行者でシンガー・ソングライターの宮田まゆみさんがピアノ伴奏で歌を披露し、園児を楽働く者のメンタルヘルス相談室（伊福達彦理事長）の主催。東日本大震災後に県内で開催するのは初めて。自殺者の遺族の手記や写真などパネル約百五十枚を展示している。

会場では、元双葉町老人クラブ連合会女性部長の伊沢恭子さんとフォトジャーナリストの武馬恰子さんの写真展も同時開催している。二人は、震災と東京電力福島第一原発事故で最後の避難所となっていた埼玉県加須市の旧騎西高避難所の様子を撮影していた。避難所の住民らの表情を捉えた作品約四十枚が並ぶ。

時間は午前十時から午後五時まで。

大阪市のNPO法人

2014.7.12 福島民報

### 自殺者遺族の思い感じて

いわきであすまでパネル展

#### 旧騎西高避難所の写真も

自殺者の遺族の思いを伝える展示会「私のなかで今、生きているあなた」は10日、いわき市平の市文化センターで始まった。入場無料。十三日まで。

2014.7.12 (第三種郵便物認可) 福島民友

いわき

# 「不本意な死」防ごう

## 自死遺族パネル展 あすまで

自死遺族パネル展「私のなかで今、生きているあなた」は10日、いわき市文化センターで始まった。13日まで。

▲さまざまなデータ、遺族の生の声などが展示されている会場

伊福達彦理事長の主催。過酷な労働の中、自ら命を絶った50人の会社名、年齢、病名などの記録、日本の労働時間やうつ病休職者の実態、夫や母、子どもを亡くした遺族が寄せた直筆のメッセージを展示している。日本の自殺率は欧米の2倍以上で、1998（平成10）年以降年間3万人前後が自殺しているという。

主催者は「被災地では震災関連死の問題に直面している。不本意な死をどう防ぐかを考えるきっかけにしてほしい」と話している。展示は午前10時～午後5時。

避難所写真展も開催

双葉町の避難所だった埼玉県加須市騎西高の避難生活の様子をカメラに収めた「最後の避難所写真展」も同時開催している。

騎西高で避難所生活しながら、避難者の視点で写真を撮り続けてきた元双葉町老人クラブ連合会女性部長の伊沢恭子さん（89）埼玉県加須市での写真18点と、カメラマン武馬恰子さんの作品「騎西難民」18点を展示。プロ、アマの視点で避難者の喜びやとまどい、悲しみが切り取られている。

避難生活をカメラに収めた伊沢さん

福 島